

越谷市新庁舎建設基本設計

2018. 04. 23

1. 概要

現在の市役所本庁舎は、昭和44年の建築で49年が経過しており、建物の躯体などの老朽化、バリアフリー化などの対応が不十分な状況にあり、また、耐震性が極めて低い建物です。

このため、平成26年9月に、現在の庁舎敷地内で建て替える方針を決定し、市が目指す理想の庁舎や基本理念などの方針を定めた「越谷市本庁舎整備基本構想」を策定しました。

その後、より具体的な整備方針を定めた「越谷市本庁舎建設基本計画」を策定し、平成28年10月に一部見直しを行い、平成28、29年度の2ヵ年で基本設計に取り組んでまいりました。このたび、市民ワークショップやパブリックコメントの意見を参考に、建物のデザインや構造、配置、必要な機能や設備などの庁舎の基本的な内容を定めた「越谷市新庁舎建設基本設計」を作成しました。

新庁舎は、新本庁舎と市民協働ゾーンの2棟で構成され、新本庁舎は、鉄骨造8階、延べ面積約12,000㎡で、平成33年度からの供用開始を目指します。また、新本庁舎と既存の第二、三庁舎をつなぐ市民協働ゾーンは、鉄骨造3階、延べ面積約2,500㎡で平成36年度からの供用開始を目指します。

2. 設計のコンセプト（概要版 P2）

「中核市・越谷の新たな拠点となる

『人・環境・歴史・安心』をつなぐ庁舎」



▲鳥瞰図

テーマ：4つの「つなぐ」（概要版 P2）

① 環境とつなぐ『水郷テラス』

葛西用水・元荒川の豊かな水辺環境を活かし、市民が憩える水郷テラスを1・2階に設置し、賑わいと魅力ある空間をつくります。水郷テラスには、ベンチを設置し休憩場所として、様々な角度から眺望を楽しんでもらえるように工夫しました。

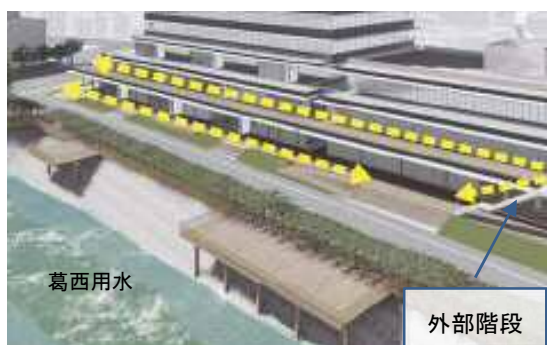
さらに、越谷駅前線側と市民協働ゾーン側の2ヵ所に2階への階段を設けることで、回遊性のある計画としました。



▲「つながる」 東側葛西用水ウッドデッキ



▲「つどう」 1階水郷テラス



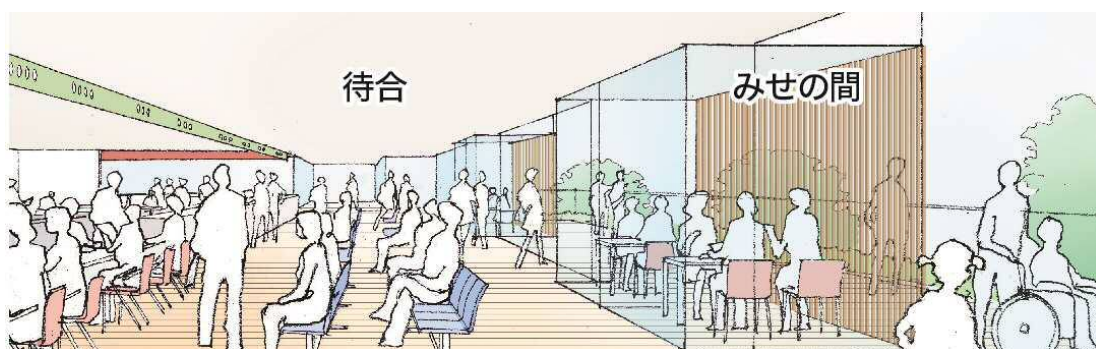
▲「回遊する」 1・2階水郷テラス



▲「のぞむ」 2階水郷テラス

② 越谷の歴史をつなぐ『みせの間』

越谷宿の特徴である格子戸と接客空間となる「みせ」の領域を新本庁舎の待合スペースにデザインとして取り入れ、越谷の歴史が感じられるよう配慮しました。



▲「みせの間」 1階待合いロビー

③ 人と人をつなぐ 『みんなのひろば』

市民協働ゾーンのエントランスホールを、各種イベントや市民交流などにも活用ができる1・2階吹き抜けの「みんなのひろば」として整備します。

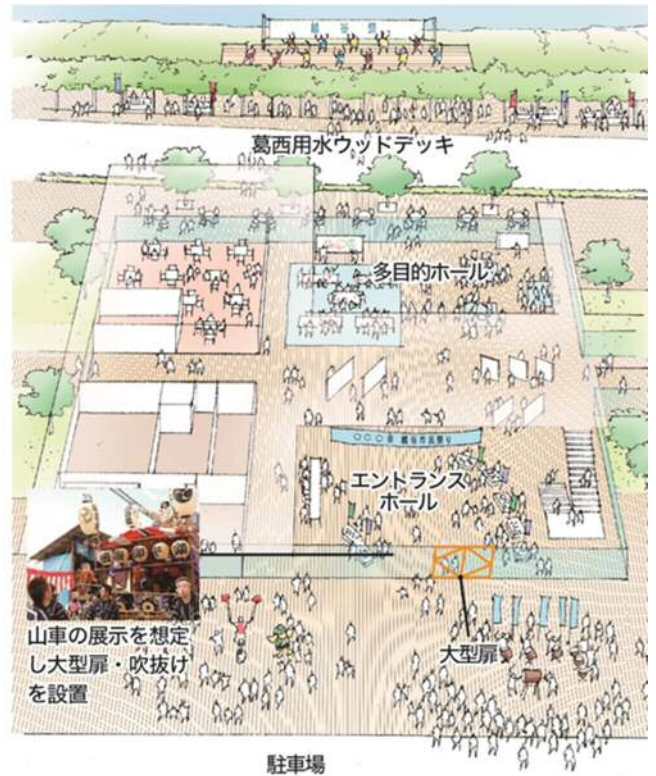
また、西側の駐車場から東側の葛西用水ウッドデッキまで一体的な利用をすることで、賑わいある空間とします。



みんなのひろば

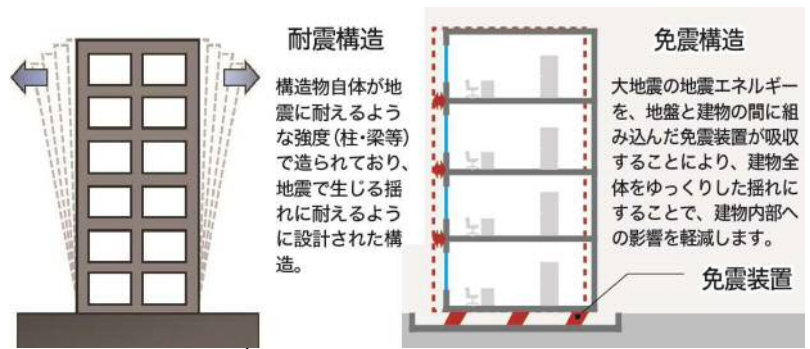
▲エントランスホール「内観図」

▼市民協働ゾーン1階「みんなのひろば」



④ 安心をつなぐ 『防災拠点』

防災拠点施設としての機能を確実に維持させるため、災害対策本部を設置する新本庁舎は基礎免震構造、市民協働ゾーンは、耐震構造として、災害に強い庁舎を実現します。



▲構造イメージ図

3. 建物計画

(1) 配置計画（概要版 P6）

全ての庁舎からアクセスの良い、敷地中央に市民協働ゾーンを配置し、庁舎間の円滑な連携が図れるよう配慮しました。



▲配置図

(2) 建物概要（概要版 P5）

棟名	新庁舎		既存庁舎		
	①新本庁舎	②（仮称）市民協働ゾーン	③現本庁舎	④第二庁舎	⑤第三庁舎
	H33年3月完成（新築）	H36年3月完成（新築）	S44年築 H33年度解体	H12年3月建設（既存）	H27年2月建設（既存）
構造	鉄骨造 基礎免震構造	鉄骨造 耐震構造	鉄筋コンクリート造 耐震構造	鉄骨造 耐震構造	鉄骨造 耐震構造
階数	地上8階	地上3階	地上5階 地下1階 塔屋2階	地上6階	地上5階
最高高さ	約37m	約18m	29.65m	25.60m	24.85m
延べ面積	約12,000㎡	約2,500㎡	10,021.72㎡	5,305.17㎡	4,770.71㎡
	全体	建設前	20,097.60㎡（③+④+⑤）		
		建設後	約24,575.88㎡（①+②+④+⑤）		
敷地面積	15,990.87㎡				

(3) ゾーニング計画（概要版 P5）

新庁舎建設にともない、業務の関連性や利便性の向上を図るため、市役所全体のレイアウト変更を行います。

棟名	室名
新本庁舎	1・2階：来客の多い窓口部門、3階：執務室 4階：市長室・副市長室・庁議室（災害対策本部室）・執務室、 5・6階：執務室、7・8階：議会関連諸室
市民協働ゾーン	1階：メインエントランスホール・総合受付・多目的ホール・売店 2階：行政資料コーナー・市民ラウンジ・軽食喫茶コーナー 3階：会議室（災害対策室）
第二・三庁舎	1・2階：福祉・子育て部門、3階：教育部門、4階：執務室、5階：会議室

(4) 立面計画（概要版 P11）

周辺に威圧感や圧迫感を与えないために、木格子をデザインに取り入れ、周辺環境と調和するよう配慮しました。また、西日対策として、外気の入力と日射負荷抑制を両立したエコウォール（西日対策のための壁主体のデザイン）を西側外壁に採用しました。



▲越谷駅前線からのイメージ図

(5) 防災・環境計画（概要版 P14）

①環境配慮事項：「床吹出し空調設備による、効率よく快適な執務環境」



「CASBEEによる評価Aランクの庁舎」

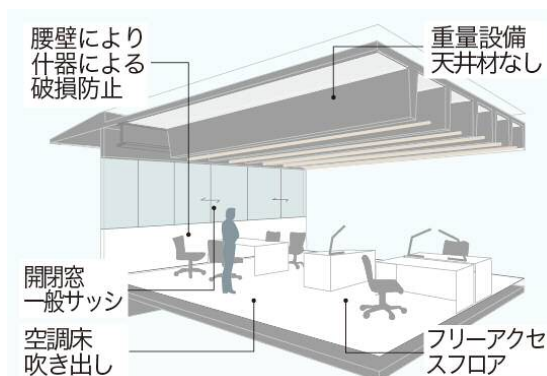
※CASBEEとは、環境性能評価の一つで、環境負荷低減等の対策を5つのランクで総合評価するもの。

②長寿命化を支える構造計画：「フレキシブルなワンルーム執務空間」、「高強度コンクリートの採用」など

③ライフサイクルコストの削減：「日常作業の簡便化による維持管理コスト」、「光熱水費の抑制による運用コストの削減」など

④業務継続計画：

「免震構造・耐震構造の採用」、「執務室の無天井化」、「2回線受電方式(本線予備線方式)」、「災害時の井水利用」、「屋上のホバリングスペース」など



4. 基本設計委託業者 株式会社 梓設計 (東京都品川区)

5. 事業スケジュール

既存庁舎を使用しながら工事を行うため、平成30年度の現本庁舎低層部解体から平成35年度の市民協働ゾーン完成まで、6年という長期スパンで建設を進めます。その後、市役所敷地の北側にある北側駐車場の立体化計画を進めます。

- 平成30年度 : 実施設計、現本庁舎低層部分解体工事
- 平成31～32年度 : 新本庁舎建設工事
- 平成33年度 : 現本庁舎5階建て部分解体工事
- 平成34～35年度 : 市民協働ゾーン建設・外構工事
- 平成36年度以降 : 立体駐車場工事

6. これまでの経緯

- 平成25年 4月 「越谷市本庁舎整備審議会」設置
- 平成26年 9月 「越谷市本庁舎整備基本構想」策定
- 平成28年 3月 「越谷市本庁舎建設基本計画」策定
- 平成28年10月 「越谷市本庁舎建設基本計画(改訂版)」策定
- 平成29年 1月 基本設計業務委託業者をプロポーザル方式により決定
- 平成30年 3月 「越谷市新庁舎建設基本設計」作成

7. 事業費について

新本庁舎及び市民協働ゾーンの建設、既存本庁舎の解体、外構のほか、設計費、工事監理業務費等を合わせ、総額約86億8,000万円と試算しています。(引越費用、備品購入費用等は除く。)

【問合せ】：庁舎管理課

電話 048-963-9134